



池田 達夫 議員

### 土砂災害予防対策の現状と今後の取り組みについて

土砂災害予防対策の現状と今後の取り組みについて

地域物出地区の地滑り災害の対応はどうか。

市長答弁

今冬の豪雪による影響、土砂災害予防の監視体制について伺う。  
また、4月に発生した能生



五十嵐 健一郎 議員

### 新エネルギーの取り組みについて

新エネルギーの取り組みについて

市長答弁

小水力、地熱、雪氷、雪室、下水処理等による発電の可能性調査の状況、今後の方向性について伺う。

新エネルギーの可能性調査について、小水力発電については、平成23年度の県の調査で、中川原用水で2.4キロワット程度の発電が可能との結果が出ている。

地熱発電については、平成21年度の県の調査により、糸魚川

いる。監視体制については、地滑り巡視員34人が35地区で巡視を行っており、この監視体制を継続していく。

物出地区の地滑り災害においては人命第一を最優先に、県との連携を密にして対応してきた。今後、年間40日の巡視を行い、月1回報告書提出のほか、異状を発見した場合には速やかに通報されることとなっている。

温泉で最大262キロワット程度の発電が可能との結果が出ています。

雪氷、雪室等の雪冷熱利用及び下水処理からの発電についての調査は実施していません。

今後の方向性については、住宅用太陽光発電や太陽熱利用の普及啓発をさらに進めていくとともに、木質ペレット、小水力発電、地熱発電等について、利活用の検討を進めていきたいと考えています。

### 並行在来線問題の現状と課題について

質問

新潟県並行在来線株式会社(現えちごトキめき鉄道株式会社)の運行方針はいつ決定されるのか。安全性の検討状況は。

また、同社への市の方針の決定時期は。市民、議会の意見は反映されるのか。

市長答弁

経営基本計画は秋頃に策定の方向で進められている。安全

対策については現在の水準以上で要望しているところである。

現時点で経営計画が示されていないため、市の方針決定の時期も未定であるが、議会や市民の皆さんの声を聞きながら判断していく。関係団体との連携はもちろん、議会では特別委員会が設置されているところであり、議会と一体となった行動は必要と捉えている。

### 空き家等の適正管理条例制定及び活用策について

質問

空き家等の管理責任や条例制定について、また、空き家等の情報提供の現況や活用策について伺う。

市長答弁

建物等の私有財産は、所有者による適正な管理が基本と考えている。条例制定については、市内の状況や条例の実効性等を今後検討していく。空き家等の情報提供は、平

成19年度から取り組んでおり、近年、紹介件数・新規登録件数とともに増加している。また平成23年度から、U・J・ターン促進空き家改修事業にも取り組んでおり、今後も空き家の利活用と市外者の定住促進を図っていききたい。

### 《その他質問項目》

- ・ 能生体育館整備事業の機能強化策について

